

福生市教育委員会会議録

令和2年第1回定例会

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 開催年月日 | 令和2年1月31日（金） |
| 2 | 開始時刻 | 午後3時00分 |
| 3 | 終了時刻 | 午後3時45分 |
| 4 | 場 所 | 第二棟4階 第1委員会室 |
| 5 | 出席委員 | 教 育 長 川 越 孝 洋
委 員 渡 辺 浩 行
委 員 加 藤 孝 子
委 員 野 口 哲 也
委 員 新 藤 美 知 子 |
| 6 | 欠席委員 | 委 員 坂 本 和 良 |
| 7 | 出席者氏名 | 教 育 部 長 中 岡 保 彦
参事兼教育指導課長 神 田 恭 司
教 育 総 務 課 長 中 島 雅 人
教 育 支 援 課 長 細 谷 幸 子
学 校 給 食 課 長 荻 島 正 義
生涯学習推進課長 菱 山 栄 三 郎
スポーツ推進課長 矢 ヶ 崎 冬 木
公 民 館 長 佐 藤 克 年
図 書 館 長 森 田 雅 枝
教育施策担当主幹 酒 見 裕 子
指 導 主 事 古 川 裕 平 |
| 8 | 傍 聴 人 | 1人 |

9 議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第 1 号 令和元年度福生市教育委員会表彰者の決定について

日程第 4 議案第 2 号 福生市と学校法人慶應義塾大学 S F C 研究所との協力に関する
包括連携協定について

日程第 5 議案第 3 号 福生市立学校教育管理職の人事異動の内申について

日程第 6 報告第 1 号 平成 31 年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結
果について

日程第 7 報告第 2 号 令和元年度東京都統一体力テストの結果について

日程第 8 その他報告事項

午後 3 時 00 分 開会

教 育 長 それでは、定刻でございますので、ただいまから令和 2 年第 1 回福生市教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、坂本委員から欠席届が提出されておりますが、委員の過半数が出席しておりますので、本定例会の定足数は満たしております。

これより本日の会議を開きます。

まず、日程についてお諮りいたします。日程第 5、議案第 3 号、福生市立学校教育管理職の人事異動の内申についてにつきましては、人事案件のため、福生市教育委員会会議規則第 8 条の規定に基づき、これを公開しない会議とし、日程第 8、その他報告事項の後に審議を行いたいと思いますが、異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、議案第 3 号は公開しない会議とし、日程第 8、その他報告事項の後に審議することといたします。

これより日程に入ります。

日程第 1、会議録署名委員の指名を行います。

福生市教育委員会会議規則第 19 条の規定に基づき、新藤美知子委員、渡辺浩行委員の兩名を署名委員として指名いたします。

次に、日程第 2、教育長報告を行います。教育長報告を各担当部長より申し上げます。

初めに、教育部長より報告いたします。

教 育 部 長 それでは、私から、学校教育を除く所管事務について御報告をさせていただきます。お手元の A 3 判の横判の資料をご覧ください。

まず、市からでございます。12 月 20 日市議会の本会議最終日が行われました。こちらにつきましては、後ほどその他報告事項で報告をさせていただきます。それから、1 月の下のほうですが、28 日、福生市環境マネジメントシステム（F－e）監査、福生市は従来から環境のマネジメントシステムを採用しておりまして、市長、教育長をはじめ、各課、学校がこの監査の対象に当たっていきまして、それぞれ環境への取組に関する監査を終了したところでございます。それから、この記載にございませんが、1 月 30 日、昨日でございますが、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づきまして、新型コロナウイルス対策会議を行いました。福生市は新型インフルエンザ等対策行動計画というものを持っておりまして、それに基づいて

開催された会議でございます。こちら、副市長がトップでございますが、教育からは教育長、それから私と参事ということで各部長がメンバーでございます。ここにおきまして、各施設での消毒の対応、また職員がマスク着用での対応をする、それを市民に周知する、そういったことが話し合われております。

なお、学校の対応につきましては、後ほど参事から報告をさせていただきます。

続きまして、教育総務課でございます。学校訪問を実施したほか、教育委員会連合会理事会では加藤委員に御出席いただきました。また、ふっさつ子未来会議におきましては、皆さんに御出席をいただきました。お忙しいところありがとうございました。

それから、1月23日でございます。西多摩地域広域行政圏協議会教育長会が開催されました。こちらでは、主に多摩の子詩集、これは教育長から教員の負担軽減であるとか、この詩集の位置づけということで話し合いが行われました。今後、教員負担軽減に向けて、また話し合いが持たれるということが決められております。また、情報交換として、校内LANの整備状況、西多摩の地域の予算計上等の状況の話し合いがありました。

それから、1月29日に東京都市教育長会が開催されました。こちらにつきましては、東京都の幹部より都の予算の説明、特にICTなどの説明がございました。また、市から予算要望等ございましたものについて回答がございました。先ほどのコロナウイルスの情報交換もございました。

続きまして、学校給食課でございます。12月23日に防災食育センターに上野文部科学省副大臣が視察にお見えになっております。市からは、市長、教育長、議長が対応しております。また、そのほか各地から視察見学が今月においてもお越しいただいております。

また、1月20日をご覧ください。給食配送用ラッピング車両運行開始ということで、市制施行50周年記念事業ということで、新たなラッピングを施しまして、これがスタートしております。ぜひご覧いただければと思います。

それから、生涯学習推進課でございます。福生市成人式に皆様に御出席いただき、ありがとうございました。こちらでございますが、対象が617名に対しまして参加が345名、参加率は55.9%でございますが、この対象者の中には外国籍の方も多く含まれておりますので、その方々を除くと約74%ということで高い出席率になってございます。

続きまして、スポーツ推進課でございます。12月23日、福生市営競技場、教育委員会でもお話ししましたが、「ネッツ多摩S&Dフィールド」ということで、ネーミングライツ、こちらの協定締結式を市役所でとり行いました。

続きまして、1月9日をご覧ください。GONA（ゴナ）表敬訪問ということで、アルティメットのGONAという団体が全国大会で優勝を果たしたものです。後ほどの議案にも、教育委員会表彰候補者の団体として、このGONAは挙げられておりますが、この中には二中の生徒6人が含まれており、選手としても活躍し、決勝では大学のチームを破っての優勝とのことでございます。

続きまして、1月24日金曜日でございます。こちら、教育委員会表彰にございますが、全国小学生バドミントン選手権で成績優秀ということで市長表敬訪問がございました。一小の5年生、また五小の4年生ですが、五小の4年生におきましては、全国で3位に入賞されたということでございます。

最後に、図書館でございます。図書館の12月21日、そして24日に、ブックトークでございますが、こちらについては、第六小学校の先生の紹介により低学年を対象に実施したものでございます。

私からは以上でございます。

教 育 長
参事教育指導課長

次に、参事より報告いたします。

私からは、学校教育に関する所管事務について、大きく6点御報告申し上げます。

1点は、インフルエンザによる学級、学年閉鎖の報告です。インフルエンザの報道がありますが、本市においても、昨年末から罹患児童・生徒が増加しています。学級、学年閉鎖は、小学校で三小を除く6校で1日から3日間の学級閉鎖、学年閉鎖を行っています。

2点目は、中学校スキー教室です。予定どおりスキー体験をしてまいりました。第三中学校の生徒1人に左上腕の骨折の報告がありました。医療機関で処置をし、他の生徒とともにバスで帰校しております。再発防止の徹底を指導いたしました。

3点は、研究報告会です。福生第五小学校は持続可能な社会づくりに向けた教育推進校の研究報告会を実施いたしました。今後も研究を続け、次年度本発表を行う予定でございます。

4点は、福生市立学校書写展ですが、ご覧の日程で市役所1階ロビーに

て開催をいたしました。

5点は、福生市立学校展覧会ですが、ご覧の日程で市民会館展示スペースにて開催をいたしました。市内小・中学生の力作が展示されておりました。

6点は、行事等、当面の予定についてでございますが、4点でございます。初めは、第11回中学生「東京駅伝」大会です。お手元に「東京駅伝」と書かれた東京都教育委員会作成の冊子を御用意いたしました。ご覧ください。2月2日、日曜日、味の素スタジアム内のアミノバイタルフィールドを会場として、女子は午前10時スタート、男子は午後1時スタートで、各地区選抜の中学校2年生で地区対抗駅伝に挑みます。冊子の49ページをご覧ください。福生市選手団の名簿と写真が掲載されておりますので、後ほど御確認をお願いいたします。今年度は、これまで以上に選手選抜から練習まで計画的に取り組んでまいりました。いよいよ大会が近づいてまいりましたが、福生市選手団として、当日を万全の体制で迎えたいと考えております。教育委員の皆様からのお心遣いもいただきまして、まことにありがとうございます。

2点は、総合教育会議、福生市教育シンポジウムを行います。御参加をお願いいたします。

3点は、福生市立学校教育研究会報告会が行われます。

最後は、平成31年度東京都教育委員会職員表彰です。福生第五小学校の松下校長先生、福生第二中学校の寺沢指導教諭が表彰されることになっております。

報告は以上でございます。

教 育 長 以上、報告は終わりました。

質問がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

よろしいですか。ないようでございますので、教育長報告を終わります。

次に、日程第3、議案第1号、令和元年度福生市教育委員会表彰者の決定についてを議題といたします。教育総務課長より内容の説明をお願いいたします。

教育総務課長 それでは、日程第3、議案第1号、令和元年度福生市教育委員会表彰者の決定について、提案理由並びに内容について御説明を申し上げます。

3ページをお願いいたします。本議案の提案理由でございますが、令和元年度福生市教育委員会表彰の表彰者を決定する必要があるため、本案を

提出するものでございます。

この表彰は、福生市教育委員会表彰規程に基づき実施するものでございまして、10月15日発行の教育広報、またホームページ等で周知を行いまして、12月上旬までに推薦をいただき、1月10日に福生市教育委員会表彰審査会を開催したところでございます。

審査会では被表彰者として適当であるかの審査を行いまして、5ページから8ページの被表彰者候補者名簿の右側に丸印を記入しておりますが、名簿の番号1番から28番まで被表彰者として適当であるとの結果となっております。

表彰候補者推薦件数の合計には、8ページ下段にございますとおり、児童及び生徒の表彰では個人が14件、団体4件、学校教職員の表彰では個人が2件、個人及び団体の表彰では個人が3件、団体が5件でございまして、全体で個人19件、団体9件の合計で28件となっております。各表彰候補者の詳細につきましては、事前に資料を御配付させていただき、表彰理由の概要を御参照いただいておりますので、説明は省略させていただきます。

また、9ページ以降には表彰式の案を添付してございます。表彰式の日時は、3月14日午前10時30分開式とし、場所は福生市民会館小ホールを会場といたします。式次第、御来賓、当日のスケジュールは記載のとおりでございます。

御審議賜りまして、原案のとおり被表彰者につきまして御決定くださいますようお願い申し上げます。

説明は以上でございます。

教 育 長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

よろしいですか。例年この表彰制度ができて以来、大体同じような件数で推薦をいただき、審査委員会で審査をさせていただいておりますが、件数、表彰の対象者が安定して大体この程度の件数が毎年上がってきておりまして、大変いいことだなと思っております。

よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

教 育 長 それでは、ないようですので、質疑を終わります。

お諮りいたします。議案第1号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決することといたします。

次に、日程第4、議案第2号、福生市と学校法人慶應義塾大学SFC研究所との協力に関する包括連携協定についてを議題といたします。主幹より内容の説明をお願いいたします。

教育施策担当主幹

日程第4、議案第2号、福生市と学校法人慶應義塾大学SFC研究所との協力に関する包括連携協定につきまして、御説明申し上げます。

恐れ入りますが、議案第2号差し替え資料をご覧ください。1番の概要にございますとおり、福生市と慶應義塾大学SFC研究所とは教育研究活動における連携協力を図るため、協定を締結したいというふうに考えております。

連携事項につきましては、2番にございますとおり、まずは、小学校及び中学校における教育研究活動の推進に関すること。2点目が就学前教育段階から小学校への接続の円滑化による教育の質の調査及び分析。3点目が、各保育園、幼稚園、小学校における専門的相談機能導入後の変化等の効果検証。そして、4点目が、その他福生市及び慶應義塾大学SFC研究所が協議して必要と認める事業となつてございます。具体的な連携の取組例といたしましては、星マーク以下に記載しておりますけれども、学びに向かう力に関する意識調査、アンケート調査ですとか、学びに向かう力を育むための幼児期から継続したプログラムの開発及び研究、また学びに向かう力と学力、生活習慣等との相関を見るものなどがございます。

見込まれる効果といたしましては3番に書かれてございますけれども、慶應義塾大学SFC研究所が行うアンケート調査や分析結果をフィードバックしていただくことにより、幼保小間において質の高い交流の促進を行います。また、学びに向かう力を高める保育や教育の指導方法、それから評価方法を研究、共有することで保育士や幼稚園、小学校教員のさらなるスキル向上、またそのことが学力向上ですとか不登校等の改善にもつながると考えております。

今後のスケジュールといたしましては、4番目に書いてございますけれども、こちらの(3)番、2月27日の定例記者会見に向け、庁内の会議等を進めていく予定でございます。

説明は以上でございます。

教 育 長

内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。何をやるかということにつきましては、今説明があったとおりでございまして、共同研究の中でまた新たな調査項目、研究項

目等が出てくるかもしれませんが、今のところこの予定でございます。

よろしいでしょうか。野口委員、特に質問ないですか。

野口委員 内容的なことはよくお話を伺っているので理解しているところです。幼児教育の質を高めるコンサルティングとか、あとは終わった後で、いろんな相談機能を導入して保育の質を高めていくみたいな記載があって、ややもすると、今までの我々がやってきた幼児教育に何か外部的な圧力が加わるのかなと心配される園がひょっとしたらあるかもしれないので、その辺は今までも丁寧な説明を教育委員会でされているというのは重々承知ですが、そのあたりの御配慮もあわせてぜひ続けていただけると、より理解も進み協力も得られるのかなと思っています。私も尽力したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

教 育 長 ありがとうございます。野口委員にも、この幼稚園、保育園の理解を得るためにもさまざま中心的にいろいろな御配慮、御尽力をいただいております。私ども教育委員会所管で行う以上、東京都とともに就学前教育段階からの小学校の接続というところで共同研究をすることになっておりまして、大学の力もおかりしたいということで、さまざまに準備を進めているところでございます。よろしくお願いいたします。

今、野口委員から御意見ありましたが、あくまでも先ほどの説明にあります、フィードバックをきちんとして、特に私立の園でございますので、園内において改善を推進できるような、そんな機能強化を図ることができればという思いでございます。そんなところでございまして、よろしいでしょうか。

ほかにございませんか。それでは、ないようでございますのでお諮りいたします。

議案第2号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、議案第2号は原案のとおり可決することといたします。

次に、日程第6、報告第1号、平成31年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果についてを議題といたします。指導主事より内容の説明をお願いいたします。

指導主事(古川) 日程第6、報告第1号、平成31年度東京都児童・生徒の学力向上を図る

ための調査結果について報告いたします。別添の資料をご覧ください。A 4、1枚とA 3が折ってホッチキスどめになっているものです。

本調査は、令和元年7月4日に都内全公立小・中学校悉皆調査として小学校第5学年、中学校第2学年を対象に実施いたしました。各教科の平均正答率につきましては、上段のボックス右側にお示ししたとおりでございます。今年度の調査で明らかになった成果を申し上げます。

小・中学校ともに平均正答率は、東京都の平均正答率と比べると下回っている現状でございますが、過去のデータと比べると学力の伸びが見られます。真ん中のボックスの2、結果の概要をご覧ください。上段の棒グラフ、太い棒グラフは平成28年度と今年度の調査結果を比較したものです。今年度、中学校第2学年の生徒が3年前、小学校第5学年のときに実施した同調査の結果を比べると、全教科において都の平均との差が縮小していることがわかります。

次に、課題についてです。資料1をご覧ください。A 3の折ってあるものです。資料1は、本調査の各教科の平均正答率をまとめたものです。9教科ございます。本調査には習得目標値と到達目標値が設定されています。習得目標値は教科書の基本的な例題レベルの問題数を意味しており、黒のダイヤモンドがついている、この網かけの部分で囲まれた範囲は習得目標値を達成できなかった児童・生徒のパーセントをあらわしています。

恐れ入りますが、もう一度、先ほどのA 4のサイズの1枚目の資料をお願いいたします。真ん中のボックスの下段の細い棒グラフをご覧ください。赤色のバーが福生市における各教科の習得目標値未達の児童の生徒の割合です。本市の課題として教科書の例題レベルの問題が解けていない児童・生徒の割合が、都全体の割合と比べて多いことがわかります。

また、資料1の裏面にある資料2をご覧ください。A 3の裏面になります。本資料には東京都との平均正答率が大きく離れていた問題をピックアップしてあります。各学校に対しては課題となっている問題を子どもたちに考えさせるにはどのような授業改善が必要かについて具体的なポイントを示しながら指導していきます。

以上の成果と結果を踏まえ、今後、教育指導課として学校教職員への指導の重点について2点まとめました。恐れ入りますが、もう一度、A 4の資料をご覧ください。

1点目は、算数、数学の指導内容についてです。本市の児童・生徒は、算数、数学の学力定着に課題があります。算数、数学の指導については、

前学年に立ち戻る指導を行うなど、習熟度別の学習集団に適した内容について、ICT等を活用して指導したり、学習形態、学級形態を工夫したりして効果的な習熟度別指導の徹底を図ります。

2点目は、確かなエビデンスに基づいた指導の実施についてです。令和2年度から本市で実施を予定している福生市総合学力学習状況調査を効果的に活用し、学力の定着を図ります。教育指導課としては、本調査の結果を一人ひとりの確かな学力の定着に結びつけられるように、学力向上推進委員会等で運用の仕方を検討したり、授業改善推進プランに適切に反映し、指導の工夫を検討したりするなど学力向上に向けた取組を充実させます。

以上で報告を終わります。

教 育 長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

この東京都の学力調査につきましては、速報値等を既にお伝えしているところでございますが、例年こういう形でまとめておりまして、昨年より見やすくはなっているかと思いますが、いかがでございましょうか。よろしいですか。

また、何かございましたら、引き続いて御指導をお願いしたいと思えます。本日の時点ではこの程度でよろしいですか。次年度に向けての話もございましたけれども、より今後具体的にきめ細やかなデータ等が提示できるように努められればと考えております。

よろしいでしょうか。それでは、ないようでございしますので、質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第1号は報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、報告第1号は報告のとおり承認することといたします。

次に、日程第7、報告第2号、令和元年度東京都統一体力テストの結果についてを議題といたします。指導主事より内容の説明をお願いいたします。

指導主事(古川) 日程第7、報告第2号、令和元年度東京都統一体力テストの結果について報告いたします。

別紙の資料、カラーのA3の資料をご覧ください。本調査は、都内全小・中学校の児童・生徒が調査対象となっており、本市においては毎年6月に実施しております。調査種目は、資料の左の上段にあるように、握力

や上体起こし等、全部で8種目ございます。また、生活習慣や運動習慣についての質問紙調査も行いました。本日は、本調査における体力合計点の平均と課題となる種目及び質問調査の主な結果について御説明いたします。

まずは、体力合計点の平均についてです。資料左上をご覧ください。調査種目には、項目別得点表があり、測定の結果に応じて1から10点の得点が得られます。体力合計点は8種類の調査種目の得点の合計を算出しています。つまり体力というのを大体、おおよそこの得点で総合的にあらわしていると考えられます。東京都と比較すると、男子は小学校第3学年を除き、女子は小学校第2学年を除き、小・中全ての学年が東京都の平均を上回っております。

続いて、特に課題となる種目についてです。資料左下をご覧ください。小学校では20メートルシャトルランと反復横とびが男女共通して東京都平均を下回っている学年が多く、中学校でも20メートルシャトルランが全学年で東京都平均を下回っています。そのため小学校では体づくり運動を工夫して敏捷性を高める指導をしたり、福生市長縄大会を活用して長時間運動に親しませる指導をしたりすること。また、中学校についても、全身持久力を高めるための指導の工夫が必要と思われます。

続いて、児童・生徒の質問紙調査の分析です。資料右上をご覧ください。体育の授業が楽しいかという質問について、中学校では特に女子で否定的に答えている生徒が多く見られます。なお、資料にはありませんが、小学校では9割前後の男女の児童が肯定的に答えています。また、体力テストの目標を立てている児童・生徒のほうが、目標を立てていない児童・生徒よりも体力合計点が高いこともわかりました。一方、福生市は全国や東京都に比べ、タブレット端末を活用した動画の撮影や視聴など、体育の授業におけるICTの活用が進んでおり、ICTを活用している児童・生徒のほうが体力合計点も高いことがわかりました。

以上のことから、福生市教育委員会としては児童・生徒一人ひとりが適切に体力を伸ばすための目標を立てられるように、体力テスト記録表の活用を推進していくことと、児童・生徒が楽しいと感じられる授業を展開するため、来年度も体力向上推進委員会等においてICTを活用した授業等の効果的な取組についても検討していきます。

以上で報告を終わります。

教 育 長 内容説明は終わりました。質疑等ございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。全体としては東京都の平均は超えているということ

ではありますが、これは例年超えてきたところではありますけれども、それと中学生東京駅伝とうまく矛盾なく結果が出るといいですね。課題等も明らかになっておりますし、授業改善等の分析もどこを改善すればよいかといったようなところで、子どもの意識と教員のICTの活用状況等も報告がございました。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

教 育 長 特にないようでございますので、質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第2号は報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、報告第2号は報告のとおり承認することといたします。

次に、その他報告事項について説明願います。まず、令和元年第4回福生市議会定例会の報告について、中岡部長。

教 育 部 長 それでは、私から議会の報告をさせていただきます。資料は27ページをご覧ください。会期は、18日間でございます。教育の案件でございますが、市営競技場の使用料の改正や、また補正予算では各種委託契約差金、入札差金の減額であるとか、また問い合わせが多いのですけれども、台風19号の多摩川沿いの屋外体育施設の工事費まで議決が諮られましたので、早速工事に取りかかっているところでございます。

以上のものが議決をされたところでございます。

また、一般質問でございますが、17名の議員から質問がございました。こちら27ページにもございますとおり、令和2年度の予算編成について基本的な考え方と重点施策等について、市長、教育長答弁を初めといたしまして、教育委員会関係は9名の方から質問をいただいております。こちらは、後ほどお時間あるときにご覧いただきたいと存じます。

私からは、以上でございます。

教 育 長 以上でございますが、何かございますか。よろしいですか。

新 藤 委 員 では、前の案件のことでいいですか。

教 育 長 どうぞ。

新 藤 委 員 要望としてお願い申し上げたいと思います。先ほどの学力の調査結果です。ここにももちろん課題と手だてが簡略にまとめてあるのですが、ただでしかなかった問題に目を通してみると、分析したわけではないのですが、やはりいまだに福生の子どもたちが文章を読み取ることが非常に弱いという

印象です。やっぱり小学校の社会にしても、算数にしても、まず読むことができなければ、計算そのものが幾ら簡単でも、あるいは知識があってもできない。中学校の社会科も、もう端的にそうですね。あとは、中学校の数学なんかは、もう確かに定式を覚えていないというか、そんなことなのでしょうけれども、全体的な印象としてはやはり文章を読み込まない。それは力がないのか、やっぱり持続力がないのか、その辺についてぜひ学力向上推進委員会で検討するときに、その視点からもお願いしたいなと思います。

お願いです。よろしくお願いいたします。

教 育 長 はい。承知しました。

ほかに委員の皆様から何かございますか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

教 育 長 それでは、ないようでございますので、その他報告事項を終わらせていただきます。

ここで先ほど日程についてお諮りいたしました。日程第5、議案第3号、福生市立学校教育管理職の人事異動の内申についてを公開しない会議といたしましたので、これからは公開しない会議となります。

恐れ入りますが、関係者以外の方の御退席をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

（ 非公開会議 ）